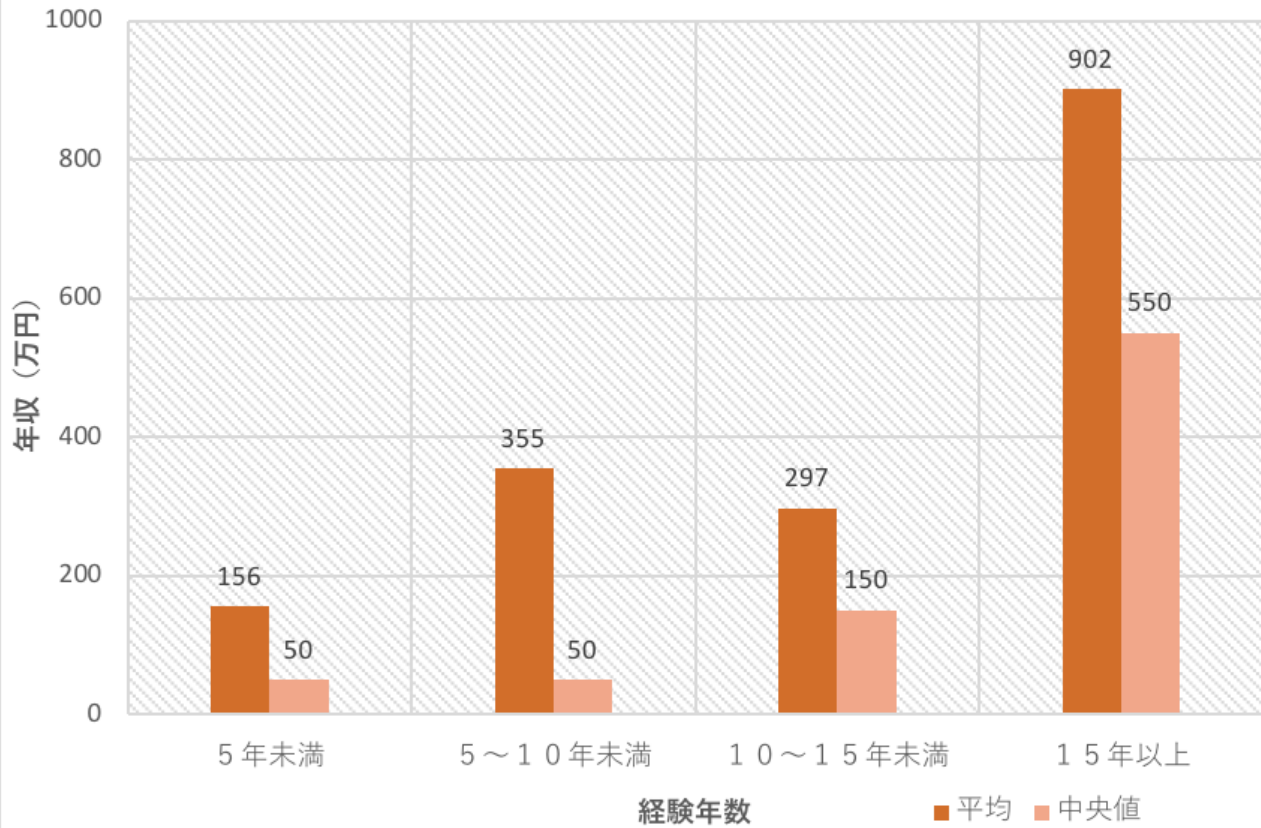


脱サラで ファイナンシャルプランナーは 可能？

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

脱サラFPの可能性（その1）

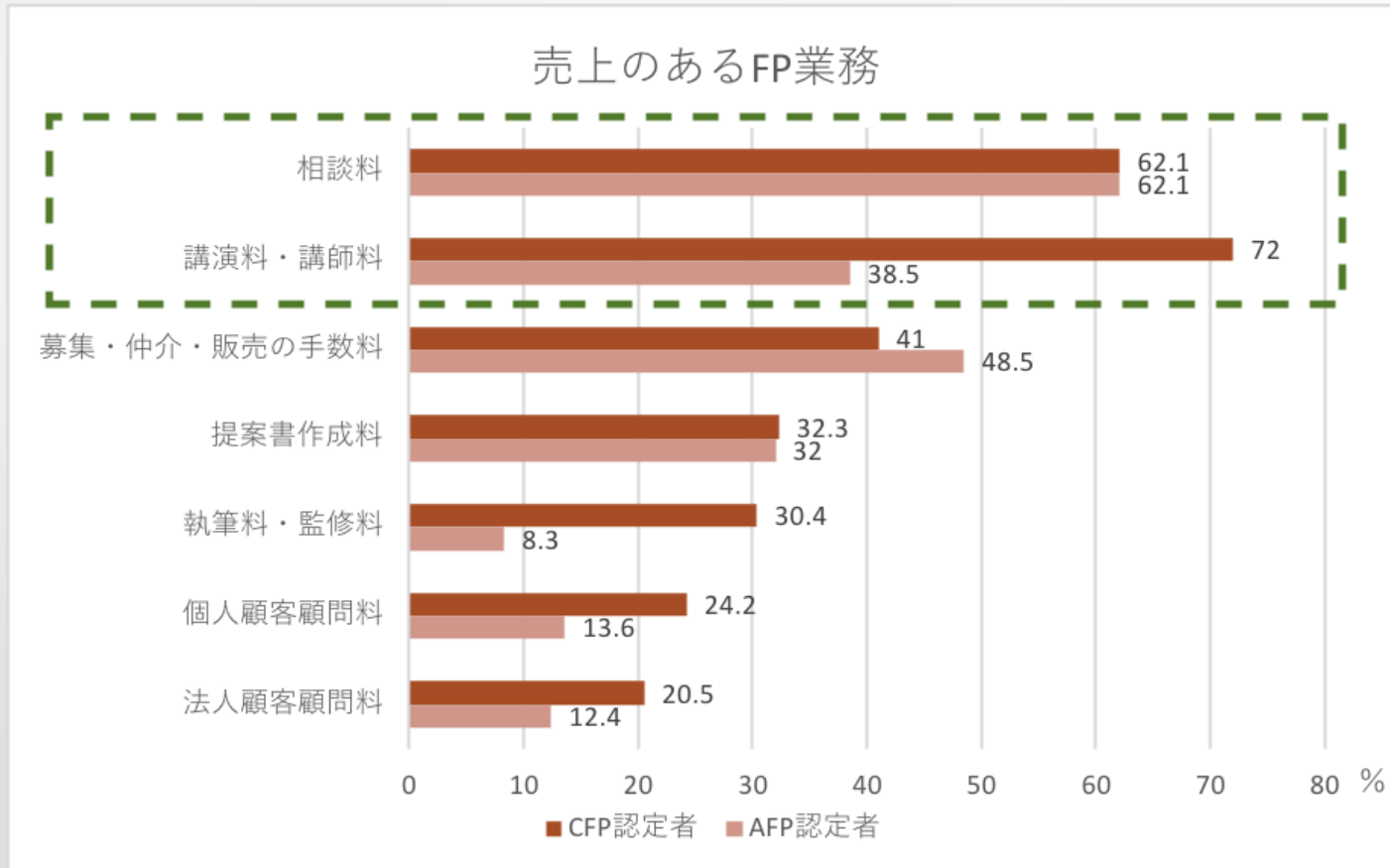
業務経験年数別FPの平均年収と中央値



- 長く続けるなら、FPで脱サラも可能性あり
- 低リスクで始めやすいメリット→副業からが王道
- 収入と、やりたいことのバランスを考える。収入だけに目を奪われると失敗する。

日本FP協会「平成23年ファイナンシャル・プランナー業務調査」

脱サラFPの可能性（その2）



- 講師業を軸にしたいなら CFP®も視野に入れる
- 別の動画、ブログ記事で詳しく説明

日本FP協会「平成23年ファイナンシャル・プランナー業務調査」より

脱サラの黄金ステップ 「副業→兼業→脱サラ」

個人事業主の税の要点(青、白)

	白色申告	青色申告	
所得区分	雑所得、事業所得	事業所得	
(1) 青色申告特別控除	できない	できる	
条件		10万円控除	65万円控除
		①単式簿記による記帳をする ②損益計算書を作成する	①複式簿記による記帳をする ②損益計算書と貸借対照表を作成する
(2) 純損失の繰越しと繰戻し	できない	できる	
(3) 青色事業専従者給与	できない	できる	

- 税金面
 - 副業（雑所得）なら20万円まで確定申告不要
 - 収入増えてきたら開業（兼業）。個人事業主は確定申告必要、ただし特別控除など節税策が可能
- リスク面
 - 個人事業は当初収入少ない、不安定などのリスク→給与収入で補えれば収入リスク減らせる
- 経営面
 - （FP等コンサル系の）下積み期間を確保できる
 - 給与収入を投資（学習、外注、集客等）に回せる→脱サラが加速

脱サラFPの可能性 まとめ

- FPは低リスクで始めやすいので、**副業**から
- 収入が増えてきたら、開業届を出して節税。可能なら青色申告活用。開業しても、サラリーマンとの**兼業可能**。
- 脱サラを加速させたいなら、給与の一部を**投資**に回す。学習、外注、集客等に投資すればその分ビジネスが加速する。

期間限定で**無料**プレゼント中！

行列のできる
FP事務所



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>